

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学附属病院 放射線部では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2019年10月 福島県立医科大学附属病院 放射線部 長澤 陽介

【研究課題名】

子宮頸癌に対する画像誘導小線源治療におけるアプリータ再構成の自動化に関する研究

【研究期間】2019年10月 ～ 2022年3月

【研究の意義・目的】

画像誘導小線源治療は、CTなどの3次元画像を用いて治療計画を立案することで、腫瘍と周囲臓器への照射線量を最適化して治療する小線源治療です。子宮頸癌に対する画像誘導小線源治療は、治療成績の向上、および副作用の軽減に繋がる一方で、数多くのプロセスを経て治療計画が立案されるため、しばしば治療時間の延長を伴います。また、小線源治療には、線源に近いほど線量が高く、線源から距離が離れると急激に線量が減少するという特徴があるため、位置精度が非常に重要になります。治療計画プロセスの中で位置精度に影響を与える因子の1つに、子宮腔内に挿入した器具の形状・位置を画像上で同定するアプリータ再構成という工程がありますが、CT画像の画質や計画者の技量などによって、再構成精度にばらつきが生じることが懸念されています。

そこで本研究では、子宮頸癌に対する画像誘導小線源治療におけるアプリータ再構成を自動化するソフトウェアを開発し、治療時間の短縮化、およびアプリータ再構成の高精度化を図ることを目的とします。

【研究の対象となる方】

2016年1月から2021年12月に当施設で子宮頸癌に対する画像誘導小線源治療を受けた患者様を対象とします。

【研究の方法】

当施設で画像誘導小線源治療の際に撮像した患者様のCT（あるいはコーンビームCT）画像を用いて、アプリータ再構成を2通りの方法（計画者による手動操作と本研究で開発するソフトウェアによる自動処理）で施行し、それぞれのアプリータ再構成の精度、および所要時間を取得し、比較することで、本ソフトウェアの有用性を検証します。

【研究組織】

（所属）福島県立医科大学附属病院 放射線部 （職）副主任放射線技師
（氏名）長澤 陽介
（所属）福島県立医科大学附属病院 放射線部 （職）放射線技師
（氏名）岡 善隆
（所属）福島県立医科大学附属病院 放射線部 （職）副主任放射線技師
（氏名）宮岡 裕一

【他の機関等への試料等の提供について】

該当なし

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学附属病院 放射線部 担当 長澤 陽介
電話:024-547-1594
E-mail:nagasuke@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の問い合わせ先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学附属病院 放射線部 担当 長澤 陽介
電話:024-547-1594
E-mail:nagasuke@fmu.ac.jp